

< 講座案内 >

時間	テーマ	担当講師
受付 11:30～ ※昼食はお済ませのうえお越し下さい。		
第1講座 12:00～13:30	「幼稚園に必要な頑張り方、 つまり、生き方の提案とは」	学校法人野村学園 パール幼稚園 理事長 野村 良司 氏
13:30～13:50	質疑応答	
第2講座 14:00～14:50	「幼稚園教諭の多様な働き方を取り入れた、 最適な園の運営体制を構築する」	株式会社S・Yワークス 人財創造本部 堀 春菜
第3講座 15:00～15:50	「キャリアアップに必要な評価の仕組み」	株式会社S・Yワークス 人財創造本部 リーダー 篠田 大輔
第4講座 16:00～17:00	「良い先生を育み、より良い未来を創る」	株式会社S・Yワークス 代表取締役 経営コンサルタント 佐藤 芳直

< S・Yワークス 講師紹介 >



株式会社S・Yワークス 代表取締役 経営コンサルタント 佐藤 芳直
宮城県仙台市出身。「経営学は人間学である」を哲学とし、“百年企業の創造”を提唱。常に日本の経営コンサルティングの先頭を走ってきた。講演においては、企業のみならず教育現場や地域団体からの依頼も多く、情熱溢れた「日本一の感動講演」としてファンは多い。17年間で約9,000名が参加した人財化セミナーは、自らの使命の一つとして大切にしている。年間10,000人以上の方々に講演をする中、人財にとって最も重要なのは“心のあり方”であると考え、今では経営者や社会人だけでなく、学生や主婦の方、学校教諭といった幅広い方々にご参加いただくセミナーとして、全国で人気のセミナーとなっている。



株式会社S・Yワークス
人財創造本部 リーダー 篠田 大輔
“職員室から始まる園のファンづくり”を基本方針に、職員皆が園の良さを理解し、園を好きになり、それが学生・保護者・地域へと伝わっていくコンサルティングを大切にしている。園児募集では、数年連続して園児数が減少していた園で前年対比150%超(51名→78名)の入園申込を得るなど初年度での確実な成果創出をモットーにしている。短期的に成果を上げ職員のモチベーションを高めていく短期的視点と、時間をかけて園風を積み上げる長期的視点を両立した複眼的なコンサルティング、園の想い・保育観を伝わりやすい言葉に直して表現していくコンサルティングには定評を得ている。



株式会社S・Yワークス
人財創造本部 堀 春菜
入社2年目から幼稚園・保育園業界に携わり、これまで園児募集や人財育成研修の仕事の経験を経て、現在に至る。特に、女性が働き続けられる職場、そして、女性が応募したくなる職場を理念・プロモーション・制度等、多角的な視点からアプローチを行っている。

< 開催要項 >

■日時・場所■

2018年11月27日(火) 受付開始11:30～ 講座開始12:00～

会場：フクラシア東京ステーション

■ご参加料金■

一般 32,400円/名(税込)・会員 27,000円/名(税込)

※会員とは、素心塾・佐藤塾・S・Yサークル・月刊オーディオ会員・後継者育成学校・南魚沼佐藤塾を指します。

【注意事項】

- ①お申込が必要人数に達しない場合、セミナーを中止とさせて頂く場合がございます。その場合のご連絡は、11月6日(火)までに致します。
- ②ご参加をキャンセルされる場合は、11月20日(火)までにご連絡ください。それ以降のお取り消しは参加料金の50%、当日のキャンセルおよび欠席の場合は受講料金の100%がキャンセル料となりますのでご注意ください。

■お振込先■

みずほ銀行 仙台支店(店番号:723) 普4326931
口座名義:株式会社S・Yワークス (カブシキガイシャ エスワイワークス)
※なお、お振込み手数料はお客様負担となります。

幼稚園

人財創造セミナー 2018

良い先生を育むことは、
より良い未来を創ること。

来年度に向けた園づくりは、
「自園にとっての良い先生とは何か」を考え、
人財の定義を明確にすることから始まる！

幼児教育無償化、職員採用難を

乗り越える鍵は、

人財育成にあり！



株式会社S・Yワークス
代表取締役 経営コンサルタント
佐藤 芳直



Special guest

学校法人野村学園 パール幼稚園
理事長 野村 良司 氏

2018年11月27日(火) 12:00～ 会場：フクラシア東京ステーション



株式会社S・Yワークス

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目2-25 仙台NSビル8F
TEL:022-722-2007 (平日9:00~17:30)
FAX:022-722-1770
URL: http://www.syw.jp 担当:篠田・堀・工藤

今こそ理事長・園長先生は、言葉を尽くし、「良い先生」の定義を明確にしよう！

― 自園にとつての「良い先生」が長く働ける、風土・仕組みづくりとは？ ―

全国的に取り上げられている待機児童問題をはじめ、保育の「量」の確保の優先から、幼児教育や保育の「質」の向上が求められる時代へと突入しました。幼稚園教諭や保育士の処遇、質の向上を目的とし、外部で様々な研修が実施され、それを受講することが「質」の向上に繋がるとされていますが、果たしてそれらは、真に「良い先生」を育むことに繋がっていると言えるのでしょうか…？

人財創造のはじまりは、園のトップが「人財の定義」を明確に示すこと！

良い先生を育みたい、職員の育成に力を入れていきたい、そのようにお考えの理事長・園長先生が多いいらっしゃると思われまます。人財育成に時間と手間をかけることは、園のトップとして必要不可欠であるといえます。しかし、ここで皆様に問いたいことがあります。それは、皆様の園にとって「良い先生」とは、どのような先生であるかということです。いくら人財育成に力を入れようと、他園で実施している外部研修を真似て自園に取り入れたとしても、それは一時的なモチベーションアップと、経営者の自己満足で終わってしまう場合もあります。皆様は子ども達を育む仕事をなさっているため、感じられていることであると思えますが、本来人財育成とは、非常に時間と手間を要するものです。園のトップである理事長・園長先生が、先生方一人ひとりの心に届くよう、言葉を尽くさねばなりません。それでは、園のトップとして、どのように言葉を尽くすべきか。まずは、各園の「人財の定義」を明確に示すことが必要です。そのためには、理事長・園長先生が「人間のヴィジョン」、つまり、「人間はどのようなべきなのか」を自分の中で固めることが、人財創造への第一歩となります。この「人財の定義」があるからこそ、園内の仕組みやルール・規律がより良く機能することを念頭に置いて頂きたいと思えます。

先生一人ひとりの長所を、心地よく、気持ち良く発揮できる文化を創る。

「最近の若い先生は…。」これは、幼稚園の理事長・園長先生とお話するなかでよく聞かれる言葉です。今では、辞表がスマートフォンアプリを通じて提出されるという、理事長・園長先生にとつてのびっくり現象が各園で起きています。確かに、世の中はデジタル化が進み、快適・便利に物事を済ませられるようになっていますが、一方で、人と人とのコミュニケーションまでが簡略化してしまう危険性があります。若者の中では、「コミュニケーション恐怖症」が増えていると言われており、これまで以上に、相手の心に言葉を届けようとする姿勢が組織には求められます。世間では「ゆとり世代」が問題視される傾向にありますが、彼らは戦後日本が生み出した最高傑作であるといえます。「助け合い、励まし合い、譲り合う」これら三つの能力に長けている彼らは、相手の変化を敏感に察知し、行動できる世代です。この良さをどのように組織に活かしていくのかを考えることが、人財を創造する風土づくりとなります。大人である先生同士でさえ、言葉がなかなか伝わらない時代です。まずは皆様方の園において、「しっかりと」「きっちり」「ちゃんと」という言葉が、具体的な指示として具象化され、共有できているかを確認することからはじめてみましょう。



株式会社S・Yワークス
代表取締役 経営コンサルタント
佐藤 芳直

Special guest



学校法人野村学園 パール幼稚園
理事長 野村 良司氏

ココに注目！

野村学園にとつての「いい先生」、つまり、人財の定義が明確である！

「自園にとつてのいい先生」を育むこと。この一点から野村氏の人財育成に対する情熱が感じられる。どの幼稚園にも当てはまる「いい先生」ではなく、追求すべきは「自園にとつて」という事。理事長・園長先生が、理想の人財像を自らの言葉で語り、先生方を育む必要があると野村氏は語る。

採用活動、園内・園外研修、園のパネルレット、園行事など、他園の真似事ではなく、唯一無二のものを創造する。常にそこには、野村氏の高い理想と、自ら創造しようとする強い意志が存在している。それが、多くの経営者を惹きつける最大の要素であるといえる。

◇◇講演テーマ◇◇
「幼稚園に必要な頑張り方、つまり、生き方の提案とは」

「良い先生」を育み、より良い未来を創る。

理事長・園長先生が、園のトップとしてどのように理想の人財像を掲げ、言葉を尽くして職員に伝えていくべきか、具体的な現場論まで落とし込んで学ぶ一日です。

人財について学び合う

POINT 1 本セミナーは以下の方を対象としています。

- ①自園にとつての「良い先生」を育みたいとお考えの先生
- ②人財の定義を明確にしたいとお考えの先生
- ③人財育成に力を入れたいとお考えの若き後継者の先生
- ④来年度に向けて、園の運営体制を再考されたい先生
- ⑤職員のキャリアアップと評価の仕組みを整えたいとお考えの先生

高い理想を持つ

POINT 2 園のトップとして理想の人財「良い先生」の定義を明確にする。

人財の定義をどのように創ったら良いのか…。そのような疑問をお持ちの先生方も多くいらっしゃると思います。本セミナーでは、人財の定義に繋がる、人間のVISIONの描き方についてお伝えします。

人財を補完する仕組みづくり

POINT 3 「良い先生」が心地良く、気持ち良く長所を発揮できる文化・仕組みを創る。

理想を掲げているだけでは、職員一人ひとりに対してトップの想いは伝わりません。トップとして言葉を紡ぎ、どのように現場の職員と理想を共有することが必要であるのか、園の運営体制や現場行動への具体的な落とし込みについてお伝えしていきます。